

2020年6月2日

愛知県知事 大村 秀章 様

愛知県社会保障推進協議会
議長 森谷 光夫

新型コロナウイルス感染症にかかわる 医療機関・介護事業所等への支援強化求める要請書

今般の新型コロナウイルス感染症に対する貴職のご尽力に敬意を表します。

私ども愛知社保協は、愛知県の社会保障制度の改善をめざし、課題別共闘組織として、医療・年金・福祉・介護など国の改悪に反対し、社会保障を改善する運動をすすめています。

今回の新型コロナウイルスの感染拡大により、医療機関の経営が悪化しており、医療・介護職の賃下げにつながる事例も起こっています。防護具の不足から感染への不安も増しています。地域医療を守るため、医療機関の経営を守り、命がけて働く医療・介護職が働き続けられるよう、公的な財政措置を含めた支援の強化を要請します。

記

1. 新型コロナウイルス感染症患者を受け入れた県内すべての医療機関を対象に、空床確保に伴う収益減を含めた通常収益の減少分、およびPCR検査の実施、発熱外来や帰国者・接触者外来の開設、医師・看護師等の専属スタッフの確保、危険手当等の対応に対して支援をしてください。
2. 県内すべての医療機関を対象に、新型コロナウイルス感染症に伴って受診抑制などで生じた通常収益の減少分、および感染対策への対応に伴って支出した新たな費用の増加分に対して支援を強めてください。
3. 県内すべての介護事業所を対象に、新型コロナウイルス感染症に伴う利用者減等による減収分、感染予防・感染対応等に係る費用の増大分に対して支援してください。
4. マスクや消毒用アルコール液など、標準予防策に必要な資材がすべての医療機関、在宅・介護事業所に行き渡るようにしてください。また、安定的に確保・供給を図るため財政措置を強化してください。
5. 新型コロナウイルス感染症の第2波、第3波が予想されます。地域医療構想に基づく、公立・公的病院の病床の削減をせず、感染症病床を増床し確保してください。

6.感染者や感染疑いの患者が安心して医療が受けられるように、PCR 検査体制を強化してください。

また、入院患者や職員に対する「抗体検査」を優先的に行ってください。

7.第2波、第3波を予測し、医療崩壊を招かぬよう感染患者専門受け入れ病院の整備と、スタッフ研修を強化し、受け入れ態勢準備を進めてください。

8.県の責任で、PPE（個人防護具）資材が安定供給できるシステムを構築し、資材の使いまわし等をなくし、本来あるべき使用方法が守られるようにしてください。

また、PPEの正確な着脱は院内感染を防ぐためにも重要であり、対象職員に対する研修・出張指導などを行ってください。

9.県下すべての医療機関でコロナ感染症対応に従事している職員に、官民関わらず「コロナ従事手当」を支給してください。

10.人工呼吸器および ECMO 等の重点配備を行うとともに、人材育成を早急に行ってください。

11.大村知事が5月21日に発表した、経営が悪化した救急病院に1法人あたり最大5億円の無利子、無担保の融資制度は、「入院が必要な患者を受け入れる2次救急を担い、従業員300人超の病院を運営する医療法人」と対象が限定されています。

現在、どこの病院も患者減で経営がひっ迫しており、対象を限定せず、融資を行ってください。

12.医療機関や介護事業所が倒産・廃業にならないように、国に対し、少なくとも前年の実績にもとづき診療報酬や介護報酬の概算払いを求めてください。

以上